

橋梁名・所在地・管理者名等

橋梁名	路線名	所在地	起点側	緯度	32° 57' 37.00"	橋梁ID
				経度	132° 58' 44.00"	
五反田橋 (フリガナ)ゴタンダバシ	市道平田山田2号線	宿毛市平田町				
管理者名	定期点検実施年月日	路下条件	代替路の有無	自専道or一般道	緊急輸送道路	占用物件(名称)
宿毛市土木課	2021.2.1	河川	有	一般道	その他	上水道

部材単位の診断(各部材毎に最も厳しい健全性の診断結果を記入)

定期点検者

(有)仲栄土木コンサルタント 大宮法文

定期点検時に記録

応急措置後に記録

部材名		判定区分 (I~IV)	変状の種類 (II以上の場合に記載)	備考(写真番号、 位置等が分かる ように記載)	応急措置後の 判定区分	応急措置内容	応急措置及び 判定実施年月日
上部構造	主桁	II	ゆるみ・脱落	径間1 主桁02 写真1			
	横桁	III	ゆるみ・脱落	径間2 横桁03 写真2			
	床版	II	床版ひびわれ	径間2 床版01 写真3			
下部構造		II	ひびわれ	径間1 下部構造02 写真4			
支承部		II	支承部の機能障害	径間2 支承0102 写真5			
その他		II	ゆるみ・脱落	径間2 防護柵02 写真6			

道路橋毎の健全性の診断(判定区分I~IV)

定期点検時に記録

(判定区分)	(所見等)
III	横桁にゆるみ・脱落が見られた。 橋梁構造の安全性の観点から、速やかにボルト取替え工等の措置を講ずる必要がある。

全景写真(起点側、終点側を記載すること)

架設年次	橋長	幅員
1972年	59.2m	6.32m
橋梁形式		
鋼桁橋		

起点



終点

※架設年次が不明の場合は「不明」と記入する。

状況写真(損傷状況)

○部材単位の判定区分がⅡ、Ⅲ又はⅣの場合には、直接関連する不具合の写真に記載のこと。

○写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。

<p>上部構造(主桁)【判定区分: Ⅱ】</p> <p>写真1</p>  <p>径間1 主桁02 ゆるみ・脱落</p>	<p>上部構造(横桁)【判定区分: Ⅲ】</p> <p>写真2</p>  <p>径間2 横桁03 ゆるみ・脱落</p>
<p>上部構造(床版)【判定区分: Ⅱ】</p> <p>写真3</p>  <p>径間2 床版01 床版ひびわれ</p>	<p>下部構造【判定区分: Ⅱ】</p> <p>写真4</p>  <p>径間1 下部構造02 ひびわれ</p>

状況写真(損傷状況)

○部材単位の判定区分がⅡ、Ⅲ又はⅣの場合には、直接関連する不具合の写真を記載のこと。

○写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。

<p>支承部【判定区分: Ⅱ】</p>	<p>その他(防護柵)【判定区分: Ⅱ】</p>
<p>写真5</p>  <p>径間2 支承0102 支承部の機能障害</p> <p>【判定区分: 】</p>	<p>写真6</p>  <p>径間2 防護柵02 ゆるみ・脱落</p> <p>【判定区分: 】</p>